



Nagoya Central Hospital NEWS

『名古屋セントラル病院』ニュース 初夏 2017



名古屋セントラル病院外観

〒453-0801 名古屋市中村区太閤三丁目7番7号
名古屋セントラル病院
TEL:052-452-3165(代表)
FAX:052-452-3182
E-mail:hospital@jr-central.co.jp
URL:http://nagoya-central-hospital.com
編集:名古屋セントラル病院 地域・法人連携室



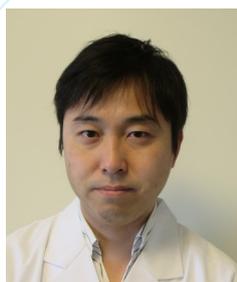
新任医師・レジデント・研修医のご紹介



4月1日付で医師1名、レジデント1名、研修医3名が新たに加わりましたので、ご紹介いたします。

【医師】

【レジデント】



循環器内科
かわしま かずひろ
副医長 川島 一博

地域医療への貢献を目標
に頑張りたいと考えており
ます。どうぞよろしくお願
い致します。



泌尿器科
わたなべ まり
レジデント 渡邊 麻里

少しでも地域の皆様のお
役に立てるよう精進して参
りますので、どうぞよろし
くお願い申し上げます。

【研修医】



たかはし さあや
高橋 砂朱

地域医療に貢献できるよ
う、技術、知識ともに日々
向上していく所存です。ど
うぞよろしくお願ひ致しま
す。



のなか けんし
野中 健史

まだ働き始めて間もなくご
迷惑をおかけすることが多い
ですが、精一杯頑張っていく
ので、どうぞよろしくお願ひ
します。



はっとり なんぺい
服部 南平

わからないことが多く未熟で
たくさんご迷惑をおかけする
と思います。1日でも早く戦力にな
れるようがんばります。ご指導
ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ
申し上げます。

転出者のご報告（医師・研修医）

【医師】	消化器外科	医長	家出 清継
	循環器内科	副医長	羽賀 智明
	神経内科	副医長	加子 哲治
	泌尿器科	副医長	古澤 淳
	糖尿病内分内科	レジデント	佐橋 是仁
	消化器内科	レジデント	石川 嶺
	神経内科	レジデント	原菌 晋太郎
	脳神経外科	レジデント	蔵地 万里奈

【研修医】 伊藤 圭馬 関本 理佐 佐藤 航
細川 慶二郎 森川 脩介

II Topics

■ 4月1日付で新入職員を迎えました

4月1日(金)より、研修医3名・看護師15名・診療放射線技師1名・臨床工学技士1名の計20名が当院で社会人として新たなスタートを切りました。今後もさらなる地域への貢献を目指し、新しいメンバーとともに職員が一丸となって地域医療に取り組みます。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。



新入社員集合写真

■ 平成28年度下期救急当直医表彰を実施しました

平成28年度下期に救急当直業務において、救急患者の治療を積極的に行い、大きく貢献した当直医を表彰しました。当院では、質の高い救急医療の提供に向け、いっそう尽力して参ります。

【受賞者】

腎臓内科 レジデント 坂 あや子



※イメージ



表彰の様子

第83回 病診連携勉強会

術中MRIを用いた脳神経外科手術 ～ブレインスイート10年の歩み～

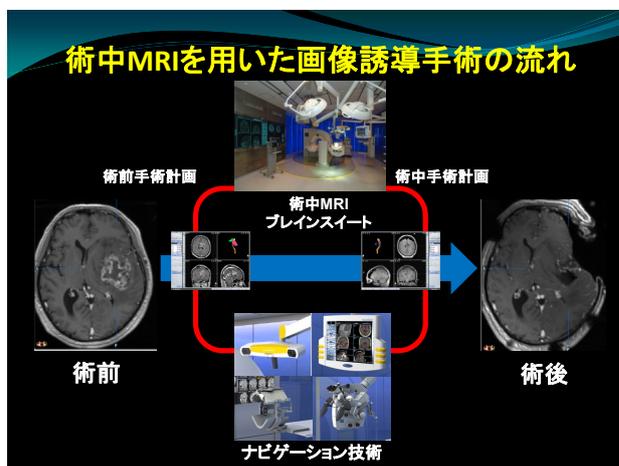
脳神経外科 主任医長 なかはら のりもと 中原 紀元



平成29年2月25日（土）、名古屋マリオットアソシアホテルにて、病診連携システム登録医の先生方をお招きして勉強会を開催いたしました。勉強会の内容をまとめましたので、以下にご紹介いたします。

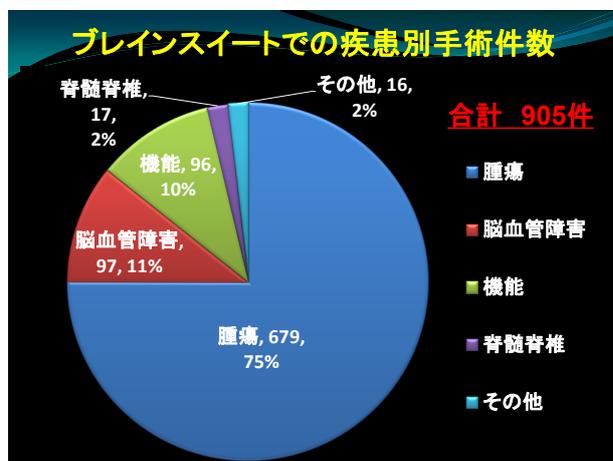
ブレインスイートとは、高磁場術中MRIを核として、手術用顕微鏡、ナビゲーションシステムを搭載した近未来型脳神経外科手術室である。名古屋セントラル病院では、新病院開設と同時にブレインスイートを導入し、2006年8月から2016年12月末日までの10年間で900件の術中MRIを用いた脳神経外科手術を実施した。

ブレインスイートが最も威力を発揮する疾患は、グリオーマや下垂体腫瘍などの脳腫瘍の画像誘導手術である。画像誘導手術とは、ナビゲーション技術を基盤として、画像情報を駆使して、術前に撮影したMRI、CT、PET等の画像と実際の術野における位置情報を統合し病変部位や手術の進入経路等を確認しながら遂行する手術のことである。ブレインスイートは、術中の患者位置情報の登録、術前術中画像の融合、ナビゲーションシステムの実行、というような画像誘導手術に必要な過程を迅速に、かつ快適に提供することが可能である。



ブレインスイートにおける術中MRIを用いた手術の利点は、1) 手術の進行に伴い生じる脳解剖のずれを、術中MRIを撮影することで新しい位置情報を取得することができ、ナビゲーション情報をアップデートすることができる、2) 術中に腫瘍の摘出度などの手術の進行状況を確認することができ、その結果によって必要があれば手術をただちに再開できる、3) 合併症の出現を早期に検出することができる、等が挙げられる。

以上のようにブレインスイートは術中MRIを用いることにより、安全で確実な脳神経外科手術の遂行を担保して、手術のQuality Control /Quality Assurance (QC/QA) の向上に寄与すると考えられる。当院では脳腫瘍だけでなく、脳動脈瘤に対するクリッピング術や頸部頸動脈狭窄に対する内膜剥離術などの脳血管障害、パーキンソン病などの機能的脳神経外科疾患、脊椎脊髄疾患などの手術に対しても積極的にブレインスイートを活用し、その可能性を追求することができた。これに関してはブレインスイートの運用に携わるコメディカルスタッフの理解と協力が不可欠であったと考える。



※イラスト、画像は全てイメージです

Event

第85回病診連携勉強会

日時:6月20日(火)14:00～

会場:名古屋セントラル病院
2階 多目的ホール

司会:院長 中尾 昭公

講師:眼科

副医長 恒川 明季

テーマ:糖尿病における眼合併症について

日本医師会生涯教育講座

カリキュラムコード:36

病診連携勉強会は、原則、偶数月の第3火曜日に開催しております。

多くの先生方のご参加をお待ちしております。

Information

タッチ型デジタルサイネージの導入について

5月15日より当院1階エントランスホールに「タッチ型デジタルサイネージ」を設置しております。

定期的な患者様向け説明会・イベント等のご案内、診療科・各医師の情報を掲載し、患者様ご自身で画面をタッチしていただくことで患者様が知りたい情報をその場でご覧いただけます。

今後も患者様へのサービス向上を目指して参ります。



デジタルサイネージ

■ 病院理念

- 1 安全で質が高く、快適でまごころのこもった患者本位の医療
- 2 健全な病院経営による地域社会への貢献
- 3 協力、責任感、積極性にあふれた活力ある病院づくり

■ ビジョン

- 1 地域の中核病院として、常に先進的で専門的、良質で効率的な急性期医療を提供する
- 2 医学的根拠に基づく医療を確実に実践し、部門や職種を超えた安心で信頼感のあるチーム医療を提供する
- 3 充実した救急医療と予防医療を提供する
- 4 地域の医療機関と綿密に連携し、受診される皆さまに最適な医療環境を提供する
- 5 各々が医の倫理を徹底し、日々研鑽するとともに医療人の育成に努め、信頼され選ばれる病院をつくる